

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
17105005	光機能性DNAのナノサイエンス	真嶋 哲朗 (大阪大学・産業科学研究所・教授)	A
<p>研究は順調に進んでおり期待通りの成果が見込まれる。申請者は次の4点を目的として挙げている。</p> <p>1. DNA上の高能率・長寿命電荷分離系の確立、2. 光機能性DNA分子ワイヤの作成、3. 有機分子修飾DNAおよびナノ粒子-DNA複合体を用いた光電変換デバイスの構築、4. DNA酸化損傷機構の解明と光線力学療法への展開。これらいずれについても着実に成果を上げつつあることは、発表論文、多数の新聞報道などで明らかである。</p> <p>今後1から4までの目的について、総花的にならず具体的にどこまで明らかにするか突っ込んだ研究が望まれる。研究費使用状況等については特に問題はない。</p>			